

切り絵新聞

第78号 【会報紙技改称】全国切り絵同好会 発行責任者 後藤伸行

平成29年4月1日
本部 群馬県利根郡川場村
日本切り絵百景館内
電話 0278~52~2022
FAX 0278~52~2181

交通新聞連載 日本再発見く小さな旅物語

いよいよ八月：画文集として発刊！

平成二十四年三月から交通新聞で連載された「日本発見く小さな旅物語」は、村田武雄氏の「夕張炭鉱住宅」をもつて終了したが、引き続き続編が掲載され、八月に全編が終了するみとうしとなり、新聞連載以外の七十一景を合わせ、百八十九点を収録した集大成の画文集として日本切り絵百景館から刊行されることになった。全国切り絵作家協会の有志が献身的に編集の作業をすすめている。日本人は太古から日本列島の不安定な地殻変動や、厳しい気象条件と闘いながら、歴史の暦をめくり、「造形美の国」をきずきあげてきた。全編、続編を担当することになった全国切り絵作家協会の会員は、各都道府県をまんべんなく取材する企画のもとに、歴史的遺産、町並や橋、神社仏閣のある風景などを切り絵で描き、素晴らしさをこの画文集に凝縮したのである。

この「小さな旅物語」は、切り絵を学ぶ人々に教則的な役割を果たし、見るとびとの癒しの糧なることであらう。

2012年(平成24年)3月2日 全曜日 交 通 新 聞 (4)



切り絵 後藤伸行

日本切り絵百景館から発行いたしますが、著作者への配本が主になるために、百冊程の限定販売となります。強く入手を希望されるかたは、はがきで百景館宛てに住所、氏名、郵便番号、必要部数等をれんらくしていただきたいと思ひます。【定価は千八百円】申込の締め切りは、五月三十日です

日本再発見

おめでたい場面に登場する「鶴」は、縁起がよい鳥として、日本人に親しまれている。しかし、本来の姿を目にすることはめづらしい。それが見られるというので、出水市のツル観察センターを訪ねた。

ツル観察センター

シベリアから飛来してきた鶴が群れる千拓地にある施設で、ツルの越冬に合わせて、11月1日から翌年3月第4日曜日まで開館している。

ここでツルに出会えたことで、「鶴は千年」という言い伝えにあやかり、長生きができるようにと祈った。

(鹿児島県出水市)

ツル観察センターへは、JR出水駅から車で約20分

文・斎藤邦良

玄宮園からの彦根城



切り絵・名取 政一郎（全国切り絵作家協会会員 無審査会員）
文・斎藤 邦良

日本再発見

小さな旅物語

28

玄宮園は、彦根藩の下屋敷だった観音殿に造営された、池泉回遊式の庭園。中国唐時代の玄宗皇帝の離宮になぞらえての命名という。

中国の瀟湘八景や近江八景を模して作庭されたと伝えられる、趣のある庭園だ。

玄宮園の中心、魚躍沼と呼ばれる大きな池の上に、せり出すように臨池閣が建ち、築山には鳳翔台がある。当時は藩の賓客をもてなすための客

殿だった。

その背後には石垣が高くそびえ、頂上に彦根城の天守が見える。見上げると、いつも威厳を感じる。

彦根城は、徳川家康の命により、1604年（慶長9

年）から20年近い歳月をかけて完成された井伊家の居城。せつかなので、天守に上

つてみることにした。

眼下には玄宮園と彦根の町、その向こうには琵琶湖が望める。まさに絶景。

しかし、藩主が天守を訪れることはほとんどなく、歴代藩主の甲冑などが収納されていたそうだ。

白亜三層の天守は、今なお気高く風格がある。かつては城下の人たちも、彦根藩の象徴として、誇らしく見上げていたことだろう。

（滋賀県彦根市）

玄宮園へは、JR彦根駅下車、徒歩15分

埼玉新聞

平成二十九年二月二日（木曜日）

文化や風景切り絵で表現

伝統工芸会館で四人展

いずれも埼玉県切り絵同好会のメンバーで、各地で切り絵の講師をしている。

会場には「水上の舞」「首里の丘」「白百合の香る寺」「溝沼の獅子舞」など、各地

の伝統と文化、風景を切り絵で表現した作品約30点が展示されている。このほか、色紙や絵はがきの作品もある。

出品しているの小川町の戸田幸子さん、上尾市の須貝京子さん、畑徳江さん、朝霞市の加藤三郎さん。

生150円。

問い合わせは、埼玉伝統工芸会館（☎04933・72・1220）へ。（磯田正重）



県内在住の切り絵作家4人の作品展
小川町小川の埼玉伝統工芸会館ギャラリー

新企画

切り絵と竹灯籠のポラポ展
七月五日〜七月三十一日

於 日本切り絵百景館

紫式部は光源氏を主人公に栄華を味わっただけに、苦悩も多い高貴な人々の極限を見つめ、千年前の貴族社会の権力闘争の真相と、人として犯してはならない罪からの復讐をえがいた。

紫式部は途方もなく大きい虚構を組み立て自然と人生を見つめ、詠嘆の心を随所に

吐露した。

男の生に絡みつくような女の「命の嘆き集」といえる源氏物語は、人々の苦悩に解決を示してはいない。

しかし見えない世界にたいする憧憬の思いは全編にちりばめられている。

神谷雪子さんは、切り絵をはじめられてそんなに長く創作を重ねた方ではない。

しかし歴史や、伝説を表現した作品には、新鮮な情緒があふれていた。

『源氏物語に挑戦したい。』と言って断念した切り絵作家は、源氏物語の人間模様を官能的に描くことから離れることは、難しいことであった。彼女は淡々と全編を仕上げたのである。新聞の連載、画文集の発行を実現した。まさに彗星のごとき登場であった。

竹灯籠作家の白川喜代次氏は、神谷さんの切り絵に共感し、繊細に竹をききさんと、見事に源氏物語をあらわし、ほのぼのと幽玄の世界に導いてくれる。

富士山地区(川場村)の竹灯籠まつり

切り絵百景館の所在地、富士山地区において、十二月二十四日、一月二十八日、二月十一日雪の棚田を舞台に竹灯籠祭りが開催された。午後五時より灯籠に点燈、山沿いの棚田に、きら星のように美しく幻想的に、二千五百の竹灯籠群が輝いた。地域の方々の献身的な奉仕と、美術大学の学生さんの応援などの力が結集された見事な美の祭典であった。今年冬も開催されるとのこと、ぜひ御覧になつていただきたいと思ひます。

百景館では、後藤館長の切り絵の灯籠を三基提供させていただいた。各地で次第に盛んになってきた灯籠祭りのために、適切な切り絵の下絵集の発行が求められていると申せましよう。

切り絵と竹灯籠展

(10時〜16時)

切り絵西文集

源氏物語

切り絵 神谷雪子 文 尾藤伊行



発行 日本切り絵百景館



第十五回埼玉県切り絵同好会グループ作品展



ほーら、こほうびだよー
切り絵 新井幸枝

会期 平成29年3月14日(火)～3月20日(月)
午前9時30分～午後4時30分
初日は午後1時より
終日は午後4時まで
◆ 体験教室あります
入場無料

会場 埼玉伝統工芸会館
主催 埼玉県切り絵同好会
後援 全国切り絵同好会

東武東上線・JR八高線
小川町駅下車
バス＝パークヒル行き
埼玉伝統工芸会館前下車

第2回 全国切り絵同好会
日立支部切り絵展



切り絵 泉ヶ森清水 鈴木正雄

会期 平成29年3月21日(火)～3月26日(日)
毎日 10時～18時
(初日 13時より・最終日 16時まで)

会場 日立市角記念市民ギャラリー
日立市并天町1-3-11
TEL 0294-26-0170 **入場無料**

主催 全国切り絵同好会日立支部
後援 ・公益財団法人日立市民科学文化財団
・全国切り絵同好会
問い合わせ TEL 0294-36-2541 (鈴木)

二十一世紀

全国切り絵コンクール【第二十六回】

5月に実施!

主催 全国切り絵同好会 日本切り絵百景館

加藤衆義切り絵展

会期 平成29年6月27日(火)
～7月9日(日)
7月3日(月)は休館日
午前9時30分より午後4時30分
最終日は午後4時まで

会場 埼玉伝統工芸会館 ギャラリー
埼玉県小川町小川1220 入館料
TEL 0493-72-1220 大人:300円
子供:150円

交通 東武東上線・JR八高線「小川町駅」から「小川パークヒル」行きバス「伝統工芸会館前」下車
徒歩1分(料金180円 運行:3本/時間)
関越自動車道「嵐山・小川IC」から車で10分

貴方の才能と個性の発見を!

- 作品の搬入 二十九年五月二十日から
五月三十一日の期間
日本切り絵百景館に必着
- 作品 モノクロ、カラー各一点まで
サイズは三々の額(廿二号)まで
- 入賞は十点、佳作は十点【入賞候補】
- 入選は百点
- 展示は七月十日～十一月二十四日
日本切り絵百景館
前期と後期に分けて展示、

- 審査員 全国切り絵同好会会長、副会長、師範
- 審査結果発表は七月十日
当会発行の切り絵新聞
- 作品集の発行 八月 入選作品を収録、
審査料は七千円
- 展示料は四千五百円(入選作品)



礼!! 小森 初美 (高崎市)

第二十五回全国切り絵コンクール
入選作品

○ 著作権侵害の作品は、入選を
取り消しいたします。
○ 詳しくは、募集要項をご覧ください。
募集要項のご請求先
日本切り絵日本切り絵百景館
電話 0278-522022
FAX 0278-522181